

市民・事業者アンケートの結果について（速報値）

1. 市民アンケートの調査の概要

（1）市民アンケート

調査対象	市内にお住まいの18歳以上の市民	
実施時期	令和3年8月26日～令和3年9月10日	
配布・回収方法	無作為抽出による郵送配布・郵送回答	
回収結果	配布数（件）	3,000件
	回答数（件）	1,780件
	回答率（%）	59.3%

※アンケート結果の速報値は、参考資料1「市民アンケート結果（速報値）」のとおり。

（2）高校生アンケート

調査対象	市内9高等学校の学生	
実施時期	8月下旬～10月末まで	
配布・回収方法	インターネットアンケート：4校 紙によるアンケート：5校 周知・実施方法（各学校によって異なる。） ・全学年で実施 ・学年を絞り実施 ・生徒会の学生に配布 ・校内のポスター掲示による呼びかけ	
回収結果	配布数（件）	※現在、アンケート実施中
	回答数（件）	
	回答率（%）	

2. 事業者アンケートの調査の概要

(1) 事業者アンケート

調査対象	市内事業所	
実施時期	令和3年8月26日～令和3年9月10日	
配布・回収方法	無作為抽出による郵送配布・郵送回答	
回収結果	配布数（件）	200件
	回答数（件）	81件
	回答率（%）	40.5%

※アンケート結果の速報値は、参考資料2「事業者アンケート結果（速報値）」のとおり。

(2) 枚方市地球温暖化対策協議会会員事業者対象アンケート

調査対象	市内事業所	
実施時期	令和3年8月26日～令和3年9月10日	
配布・回収方法	会員事業者に対して、インターネットアンケート （一部、事業者は郵送配布・郵送回答）	
回収結果	配布数（件）	128件
	回答数（件）	51件
	回答率（%）	39.8%

※アンケート結果の速報値は、参考資料3「事業者（枚方市地球温暖化対策協議会対象）アンケート結果（速報値）」のとおり。

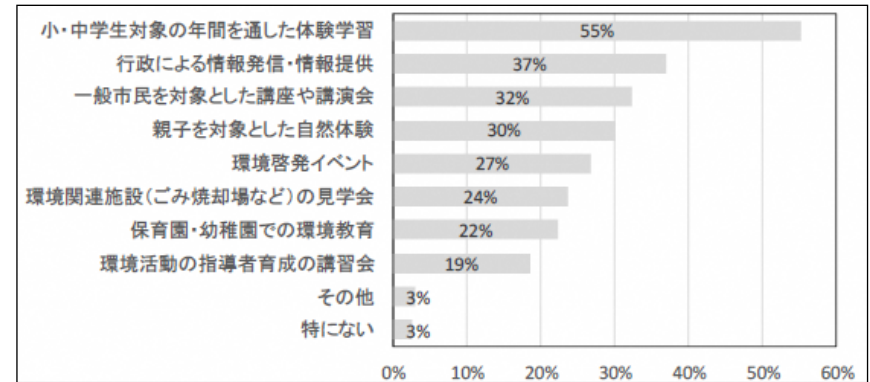
(3) 各種アンケートの分析方法について

①アンケートの分析手法1：単純集計

各選択肢において回答した人の割合を表す最もシンプルなアンケート集計方法で、大まかに、全体像を把握するのに適しており、回答者の現状や関心、市に望む施策などを直接的に抽出します。

分析の対象：すべての質問

対象者の関心の高い項目を問う質問の結果（例）

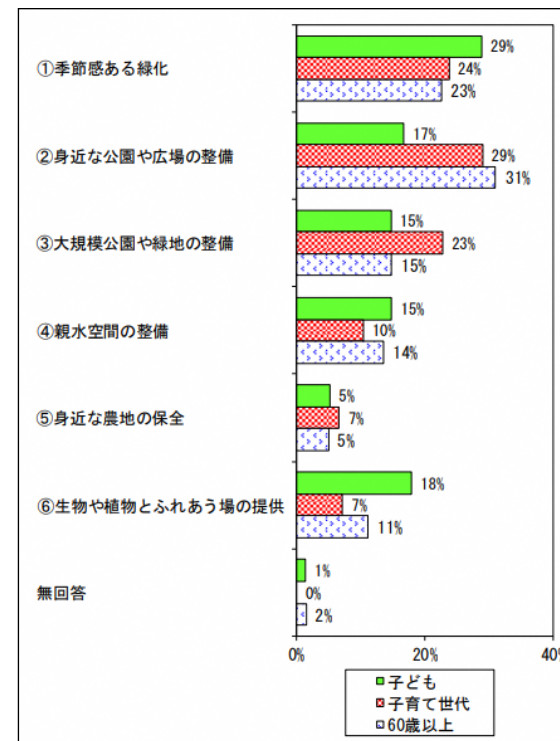


②アンケートの分析手法2：クロス集計

性別や年齢、居住地といった「属性」ごとに、詳しい情報が得られるアンケート分析方法で、各属性の回答者が、どんな選択肢を回答しているのかを知ることによって、対象者の属性に合わせた施策の検討やニーズを知ることができます。

クロス集計は、複数のデータをかけ合わせることで、単純集計よりも深い分析ができるのがメリットであり、枚方市においても、各属性と各質問についてクロス集計を行うとともに、一部、質問ごとのクロス集計も行うことで、どの属性の対象者がどのように考えているのか等を分析する予定です。

分析の対象：各属性×全問、一部質問ごとのクロス集計



関心の高い項目について問う質問の対象者の属性ごとの結果（例）

③アンケートの分析手法3：時系列分析

時間の経過によって対象がどのように変化したのかを、時系列で読み取るアンケート分析方法で、今回は、前計画のアンケートにおいて同一もしくは類似している質問を対象に比較します。

分析の対象：前回アンケートと同一または類似質問

前回調査との比較対象

検討中の質問（暫定）

- ・市民アンケート：問4、6、7、11～13、16
- ・事業者アンケート：問5、7、9、10、13～15、17、18

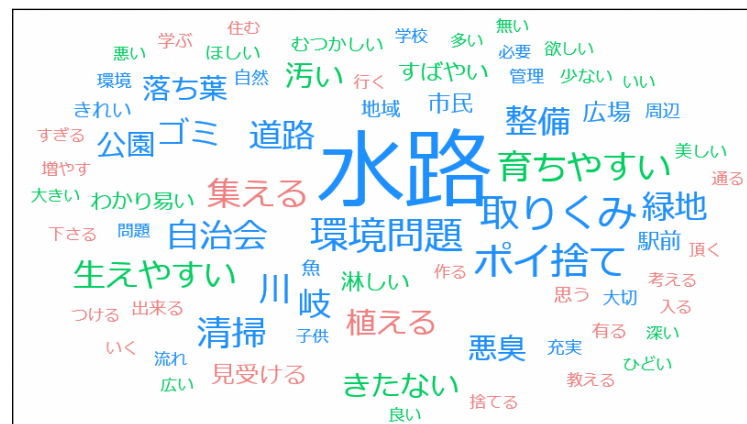
④アンケートの分析手法4：自由記述集計

自由記述を集計し、回答結果の一覧を作成します。

また、一覧の作成後、「テキストマイニング」を行います。テキストマイニングは、キーワードや文節で絞り込んで、文字列を解析手法です。

自由回答数が少ない場合ことが予想されるため、あくまで補足的に使用します。

テキストマイニングの結果（例）



3. 高校生ワークショップについて

9月18日（土）に開催する予定としていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言が発令中であったため、延期とし、現在、11月6日（土）に開催する予定で調整しています。